

2018年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス
 コード番号 4928 URL <http://www.noevirholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 俊
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 羽生 光嘉 (TEL) 078-303-5121
 四半期報告書提出予定日 2018年2月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年9月期第1四半期の連結業績(2017年10月1日～2017年12月31日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第1四半期	15,400	5.0	3,908	20.6	3,952	17.6	1,114	△1.7
2017年9月期第1四半期	14,666	3.7	3,240	20.5	3,360	21.8	1,133	20.5

(注) 包括利益 2018年9月期第1四半期 1,291百万円(△13.7%) 2017年9月期第1四半期 1,496百万円(36.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2018年9月期第1四半期	32	05	—	—
2017年9月期第1四半期	31	99	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第1四半期	78,880	57.2	45,367	63.2	—	—
2017年9月期	93,567	63.2	59,365	—	—	—

(参考) 自己資本 2018年9月期第1四半期 45,150百万円 2017年9月期 59,175百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2017年9月期	—	0.00	—	150.00	—	150.00
2018年9月期	—	—	—	—	—	—
2018年9月期(予想)	—	0.00	—	150.00	—	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年9月期の連結業績予想(2017年10月1日～2018年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	27,600	3.3	5,000	6.1	5,100	4.6	1,800	△12.0	50	77
通期	56,000	2.8	10,700	7.1	10,900	5.9	7,300	3.1	205	91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年9月期1Q	34,156,623株	2017年9月期	35,451,653株
② 期末自己株式数	2018年9月期1Q	25株	2017年9月期	30株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年9月期1Q	34,775,966株	2017年9月期1Q	35,451,623株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間（2017年10月1日～2017年12月31日）

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	14,666	100.0	15,400	100.0	733	5.0
化粧品事業	11,233	76.6	12,165	79.0	931	8.3
医薬・食品事業	3,193	21.8	3,149	20.4	△44	△1.4
その他の事業	238	1.6	85	0.6	△153	△64.2

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	3,240	22.1	3,908	25.4	667	20.6
経常利益	3,360	22.9	3,952	25.7	592	17.6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,133	7.7	1,114	7.2	△19	△1.7

当第1四半期連結累計期間（2017年10月1日～2017年12月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が進み緩やかな回復を続けているものの、為替相場の変動や海外経済の不確実性などにより、景気の動向は不透明に推移しました。

当社グループが事業を展開する国内外の市場においては、消費者の多様な潜在需要が見込まれます。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,400百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は3,908百万円（同20.6%増）、経常利益は3,952百万円（同17.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,114百万円（同1.7%減）となりました。

化粧品事業の売上高は12,165百万円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益は4,254百万円（同16.4%増）となりました。カウンセリング化粧品の売上は、高級基礎化粧品シリーズが順調に推移しました。セルフ化粧品の売上は、好調に推移しました。

医薬・食品事業の売上高は3,149百万円（前年同期比1.4%減）、セグメント利益は240百万円（同60.1%増）となりました。

その他の事業の売上高は85百万円（前年同期比64.2%減）、セグメント損失は38百万円（前年同期のセグメント損失は21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14,686百万円減少し、78,880百万円となりました。主に、現金及び預金が14,773百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ688百万円減少し、33,513百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金が1,019百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13,997百万円減少し、45,367百万円となりました。主に、自己株式の消却9,971百万円、前期末配当5,317百万円により、利益剰余金が14,174百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は57.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末の40,350百万円に比べ14,774百万円減少し、25,575百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は776百万円(前年同期比1,564百万円の収入減)となりました。これは、主に、税金等調整前四半期純利益3,938百万円と、減少要因としては、法人税等の支払及び還付2,486百万円、仕入債務の減少1,023百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は313百万円(前年同期比337百万円の支出増)となりました。これは、主に、有形固定資産の取得による支出311百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は15,252百万円(前年同期比11,022百万円の支出増)となりました。これは、主に、自己株式の取得による支出9,971百万円、配当金の支払5,251百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2017年11月7日公表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,424	25,650
受取手形及び売掛金	11,922	12,587
商品及び製品	5,859	5,843
仕掛品	107	96
原材料及び貯蔵品	1,240	1,141
繰延税金資産	782	661
未収入金	3,250	2,887
その他	633	651
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	64,200	49,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,477	4,394
機械装置及び運搬具（純額）	3,505	3,379
土地	13,716	13,716
リース資産（純額）	1,439	1,412
建設仮勘定	54	204
その他（純額）	192	200
有形固定資産合計	23,384	23,307
無形固定資産		
のれん	48	37
ソフトウェア	153	140
その他	85	85
無形固定資産合計	288	263
投資その他の資産		
投資有価証券	2,438	2,625
退職給付に係る資産	161	174
繰延税金資産	1,861	1,804
その他	1,270	1,237
貸倒引当金	△38	△32
投資その他の資産合計	5,693	5,809
固定資産合計	29,366	29,380
資産合計	93,567	78,880

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,860	4,841
リース債務	116	116
未払金	3,077	3,065
未払法人税等	1,993	1,648
賞与引当金	83	50
返品調整引当金	388	414
その他	1,166	1,970
流動負債合計	12,687	12,107
固定負債		
リース債務	1,438	1,410
長期預り保証金	14,323	14,202
繰延税金負債	422	452
退職給付に係る負債	5,196	5,206
その他	134	134
固定負債合計	21,515	21,406
負債合計	34,202	33,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	51,243	37,068
自己株式	△0	△0
株主資本合計	58,562	44,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	819	948
為替換算調整勘定	△107	△86
退職給付に係る調整累計額	△99	△98
その他の包括利益累計額合計	612	763
非支配株主持分	189	216
純資産合計	59,365	45,367
負債純資産合計	93,567	78,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2016年10月1日 至2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)
売上高	14,666	15,400
売上原価	4,778	4,958
売上総利益	9,888	10,441
販売費及び一般管理費	6,647	6,532
営業利益	3,240	3,908
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	5	6
為替差益	30	0
受取和解金	51	3
その他	32	32
営業外収益合計	120	44
営業外費用		
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	3,360	3,952
特別利益		
固定資産売却益	174	0
特別利益合計	174	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	14
減損損失	199	—
特別損失合計	201	14
税金等調整前四半期純利益	3,334	3,938
法人税、住民税及び事業税	2,207	2,650
法人税等調整額	△21	151
法人税等合計	2,185	2,801
四半期純利益	1,148	1,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,133	1,114

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	1,148	1,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	128
為替換算調整勘定	221	25
退職給付に係る調整額	22	0
その他の包括利益合計	347	154
四半期包括利益	1,496	1,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,464	1,264
非支配株主に係る四半期包括利益	32	26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2016年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,334	3,938
減価償却費	382	440
減損損失	199	—
のれん償却額	11	11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	△33
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	58	26
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△88	—
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	—	△3
受取利息及び受取配当金	△7	△8
為替差損益 (△は益)	△15	0
固定資産除売却損益 (△は益)	△173	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,325	△651
たな卸資産の増減額 (△は増加)	353	130
仕入債務の増減額 (△は減少)	263	△1,023
預り保証金の増減額 (△は減少)	△136	△120
その他	938	540
小計	3,774	3,255
利息及び配当金の受取額	6	7
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,440	△2,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,340	776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17	△18
定期預金の払戻による収入	17	18
投資有価証券の取得による支出	△90	△0
有形固定資産の取得による支出	△87	△311
有形固定資産の売却による収入	211	0
無形固定資産の取得による支出	△9	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	24	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△9,971
配当金の支払額	△4,200	△5,251
その他	△29	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,230	△15,252
現金及び現金同等物に係る換算差額	159	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,705	△14,774
現金及び現金同等物の期首残高	37,895	40,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,190	25,575

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2017年11月7日開催の取締役会において自己株式の取得及び消却を行うことを決議し、2017年11月9日に自己株式1,295,000株(9,971百万円)を取得して、2017年11月28日に自己株式1,295,030株(9,971百万円)を消却いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金が9,971百万円減少しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2016年10月1日至2016年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化粧品事業	医薬・食品事業	その他の事業	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高						
外部顧客への売上高	11,233	3,193	238	14,666	—	14,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	43	43	△43	—
計	11,233	3,193	282	14,709	△43	14,666
セグメント利益又は損失(△)	3,655	150	△21	3,784	△543	3,240

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△543百万円の内訳は、セグメント間取引消去76百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△620百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化粧品事業」及び「医薬・食品事業」において、売却することとなった施設の土地・建物等について、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては「化粧品事業」189百万円、「医薬・食品事業」10百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2017年10月1日至2017年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	化粧品事業	医薬・食品事業	その他の事業	合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高						
外部顧客への売上高	12,165	3,149	85	15,400	—	15,400
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	46	46	△46	—
計	12,165	3,149	132	15,446	△46	15,400
セグメント利益又は損失(△)	4,254	240	△38	4,456	△548	3,908

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△548百万円の内訳は、セグメント間取引消去174百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△722百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。